

## 8-4-17 I T S 専門委員会

### 1. 主な活動の記録

#### (1) 委員会の開催

専門委員会を10回(4、5、6、7、8、9、10、11、12、1月)開催した。専門委員会を開催しない月もE-mailを活用し、協議と情報交換を実施した(WGの月次報告、指示事項の周知・対応等)。

#### (2) 勉強会・活動報告会

webセミナー方式で、年次報告会・勉強会を実施した。

複数のITS関連企業を招いて最新技術動向の内容を把握するとともに、今後のITS技術の活用・応用についてディスカッションを行った。このうち代表企業1社(株式会社rim0n0)には、「進展するモビリティ革命と新型コロナウイルスのインパクト」と題して、最新のモビリティ関連の施策や技術、アフターコロナ後のモビリティの方向性等に関わる講演を頂いた。その後、ITS関連企業4社(株式会社rim0n0、株式会社フューチャースタANDARD、株式会社ナビタイムジャパン、株式会社日立製作所)により、関連するITS技術の紹介と今後の活用・応用についての議論(パネルディスカッション)を、協会会員企業からの質疑も交えて行った。

#### (3) WG活動

##### a) ITSに関わる技術、施策の調査

交通・ITSに関連する新たな技術的・社会的な潮流であるAIおよびMaaSに着目し、最新動向を収集するとともに、今後、建設コンサルタントが取り組むべき課題等を整理した。

- ・ AI技術の活用の方向性として、映像データ解析による監視・計測、観測データ解析による分析・予測等の活用事例を調査
- ・ 国、自治体、民間でのMaaSへの取り組み事例を調査し、今後の課題と建設コンサルタントの役割を整理

##### b) ビッグデータの活用可能性検討

近年各所で取得・蓄積並びに活用が進んでい

るビッグデータについて、主に交通分野に関する最新動向を調査し、活用が想定される具体的なデータの種類や技術、データ活用時の課題等について整理した。

- ・ 様々なビッグデータや関連技術の事例整理(ビッグデータカタログ)の更新(ETC2.0、商用車プローブ、スマートフォンGPSデータ、SNS、画像処理技術、AI技術等)
- ・ 利用者から見た活用ニーズに対応するビッグデータを適切に選択するための逆引きカタログを作成
- ・ データを一元管理するデータプラットフォームについて国交省等の取り組み動向を調査
- ・ コロナ禍における交通ビッグデータの使われ方を調査(人流分析等)

##### c) ITSを活用した次世代モビリティの調査

新型コロナウイルスによる国内外の移動への影響を調査した(緊急事態宣言やGoToトラベルの影響、海外都市におけるロックダウンや戦略・アクションプロジェクト、自転車需要・デリバリー需要の高まり等)。これらの状況を踏まえ、新たなモビリティやインフラのあり方を検討した。

- ・ 今以上に個別化した移動の促進(マイクロモビリティ、空飛ぶクルマ、自動配送ロボット等)
- ・ インフラのあり方の見直し(道路用地を活用したオープンスペース、自転車・歩行者通行空間の整備等)

### 2. 次年度の活動について

次年度も今年度の検討テーマを継続して検討し、以下の活動を実施する。

- ・ WGの定例的活動
- ・ WG以外のITSに関連する諸テーマの検討
- ・ 上位委員会からの指示事項への対応や関連委員会、SWG等と連携した検討
- ・ 勉強会・講演会の開催  
(ITS専門委員会委員長 松本 章宏)